様式３

学校番号 64

令和５年度　学校評価書　（計画段階・実施段階）

福岡県立　明善　高等学校（定時制）

自己評価

学　校　運　営　計　画　（４月）

学校運営方針	「克己・盡力・楽天」の校訓に基づく生徒育成を全ての指導の基本とし、少々の困難に負けることない、心身ともに強い、かつ健全な生徒を育成する。また、「確かな学力」、「豊かな人間性」を醸成するための良質な授業と主体的な学び、及び学校行事等を通じて、生き方、在り方や望ましい勤労観、職業観の育成を図り、「志の高い」生徒を育成する。		評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
令和４年度も積極的な家庭訪問、面談を行うとともに、教員間での情報交換を密に行った結果、全教職員が、生徒に対し協働で個に応じたきめ細やかな対応ができた。その成果からか、大きな問題行動等もなかった。 併せて、登校時の検温、給食時の手指消毒、換気等の感染症対策を十分に行いながら、教育活動を進めることができた。 令和５年度は、観点別評価の本格導入、及びその内容の不断の見直しを通じて、指導と評価の一体化を進めていく。 また、これまでのきめ細やかな指導は継続しつつ、言語活動を含め特別な配慮を必要とする生徒への個別指導及び手立ても充実させる。	「基礎的・基本的な知識及び技能」を確実に習得させ、これらを活用し、課題を解決するために必要な「思考力」と「判断力」・「表現力」等を育成する。	○「わかる授業」を基本とした創意工夫を凝らした授業を展開する。 ○個に応じたきめ細かな指導を行い、基礎学力の向上に努め、達成感や学ぶことの喜びを感じさせる。 ○ICTの有効活用に努め、来るDX時代への対応能力を培う。	
	「自己有用感」や「自己肯定感」を育み、「自己存在感」を感受させることを通じて、生徒自身の「自己指導能力」を育成する。	○生徒一人ひとりが「自分も一人の人間として大切にされている」と実感できる機会を意図的に設ける。 ○「ありのままの自分を受け入れる」ことのできる自己肯定感を身に付けさせ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断・決定できる能力を育成する。	
	相互扶助的で共感的な人間関係を構築する能力を育成する。	○「間違えることを恐れない、失敗を恐れない」雰囲気を常日頃から大切にし、生徒一人一人に目を配る。 ○自他を認め合うことのできる人間関係の構築、人権尊重の精神、「いじめ」を許さない精神を育成する。 ○必要に応じて、行政、SSW、SC等の関係機関や有識者との連携を行い、できるだけ早め早めの対応を行う。	
	「明朗な精神」と積極性、及び「奉仕の精神」の涵養を図る。	○何事にも明るく、積極的に取り組もうとする姿勢を評価し、支援する。 ○地域人材・社会との交流活動等も推進するとともに、ボランティア活動等への参加を奨励する。	
	日本の文化・伝統を理解させるとともに、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、自らを大切にしながら、未来を切り拓こうとする態度の涵養を図る。	○様々な入学動機や学習歴を持つ生徒に、適宜、学び直しの機会を提供する。 ○困難を抱える生徒の社会的自立を図るための確かな学力と社会生活実践力を身につけさせ、豊かな人間性を育む。 ○多様な生徒が、その能力や可能性を最大限に伸ばし、相互に認め合いながら、学校教育に全員で参加する集団作りを目指す。	

項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
学校運営	学校運営方針具現化のために、主任主事を中心に組織的・機動的に校務を遂行する。	職員間のコミュニケーションを密にし、諸課題に対し情報を共有しながら迅速で組織的な対応を図る				
		WITHコロナの考え方に則りつつ、行事運営、学習活動を行う				
		登校指導や校内巡視を行い、生徒の変化に対し迅速に対応できる組織つくりを行う				
	多様な生徒への個に応じた支援を実施するため、全職員で情報を共有し、共通認識のもと、教育活動に取組む	SC、SSW、病院、行政等、関係機関とのさらなる情報共有を図り、生徒を支援する体制を強化する				
		定期的な情報交換により、個々の生徒が抱える課題等について情報共有を図る				
		全職員が効果的な指導に向け、ICT等を活用した授業改善、情報共有に取組む				
教科指導	学ぶ意欲の喚起と学力保障	個に応じたきめ細かな指導を行い基礎学力の向上に努める				
		3観点による学習評価と授業アンケートにより、授業改善を行う				
		ICTの効果的な活用方法を研修し、より分かる授業を目指す				
	生徒の実態に合致した教育活動の推進	担任と生徒・保護者との連携を密にし、信頼関係を確立し教育活動全般に生かす				
		生徒の背景を全職員が共有し、個に応じた適切な指導を行う				
		「わかる授業」を基本とした、達成感が感じられる創意工夫を凝らした授業を展開する				
生徒指導	問題行動の未然防止と主体的な生徒の育成	情報交換会の充実				
		個別面談や学校生活アンケートの改善				
		生徒会の活性化				
	基本的生活習慣の確立と徳育の充実	欠席・遅刻など防止指導の徹底				
		定期的な全校集会の実施				
		規範意識教育を体系化し実施				
進路指導	適切な進路選択ができる環境づくり	校外の関係機関と連携してキャリア教育を行う				
		ハローワークとの連携を強化し求人を開拓する				
		個人面談等を通して学校や職場での生徒の状況を把握する				
	自己肯定感の高揚と進路意識の向上	各種検定・資格の取得を奨励するとともに指導を充実する				
		進路講演会や進路別説明会等を通して、早期の目標設定に向けた行動につなげる				
		就労体験を通して望ましい勤労観を育成するため、アルバイトを奨励する。				
保健 健康・安全	規則正しい生活習慣の確立と心身の自己管理能力の育成	健康診断の主体的受診の促進と未受診者への指導の徹底を図る				
		性と心に関する講演、食育教室を行い、基礎的な知識を涵養する				
		給食委員会を定期的に開催し、喫食率の向上に努める				
	保健・安全・衛生に関する意識の向上と保健委員会活動の活性化	手指消毒や検温の徹底を図り、引き続き新型コロナウイルス感染予防に努める				
		食事、睡眠、ストレスの状況を把握し、きめ細かな健康指導を行う				
		生徒の保健委員会を開催し、保健や給食に関する活動を活性化する				
庶務研修	教職員の資質・能力を高め、生徒の指導・育成に生かす職員研修の実施	生徒の実態、職員の要望、変化する社会に応じた職員研修を実施する				
		地域の外部講師、本校のSCによる校内研修を実施する				
		校外研修で得た情報を職員間で共有し、研修内容を還流し研鑽を深める				
	個に応じた学習活動の研究、図書環境と読書活動の充実	生徒の実態をふまえ、必要な学習内容について研修を行う				
		生徒情報を共有し、個に応じた指導・支援の仕方を検討、検証する				
		生徒が利用しやすい図書室の整備、読書活動の充実をはかる				
学校事務	経営参加型の事務室業務の推進	生徒、保護者のニーズに応えるための、効果的な予算の編成・執行を行う				
		各分掌と情報共有を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う				
		生徒、保護者に配慮した、分かりやすい文書かつ機に応じた情報発信をする				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

学校関係者評価

評価（総合）	自己評価は Ａ：適切である Ｂ：概ね適切である Ｃ：やや適切である Ｄ：不適切である

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

評価項目以外のものに関する意見